LIXIL SHINNIKKEI

施工説明書番号 ME-2053
改－3

ネクスペース ルーフ・後付け 施工説明書

●この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

●ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、アルミの腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●壁付け部品は必ず柱部または梁部に取付けてください。
●シーリング処理は指定箇所に確実に行ってください。
●部材を継ぎ足す等の改造・変更をしないでください。

◎施工の流れ

設置位置決め ▶ 庇吊り材用レール・後枠掛け取付け ▶ 後枠取付け ▶ 吊り材・垂木・母屋取付け ▶ 屋根材取付け ▶ 雨樋取付け

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意

●この商品は後付け専用です。壁面仕上げ後に施工してください。
●２階以上への取付けはしないでください。強度を保証できません。
●施工前に庇吊り材用レールの取付位置、ルーフ本体の配置、および雨樋の取付位置を確認してください。
●この商品は一般地域用です。[積雪強度：600N/ ㎡]
積雪の多い地域には取付けないでください。
●建物に積もった雪が落ちない位置に取付けてください。
やむを得ない場合は、建物側の屋根に雪止めを取付けてください。
●各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
●無理にボルト・ビスを締め付けないでください。破損の原因になります。
●躯体に取付けるコーチスクリュー・木ネジは、たたき込まずに確実にねじ込んでください。また、モルタルやサイディング等、壁面のみへの固定はしないでください。
●施工後は、必要に応じて養生を施してください。
●保管時は、平坦な場所に平置きしてください。また、長期間保管する場合、風雨にさらされないようにしてください。
●本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
●本体に雨具、洗濯物、布団等を載せないでください。

屋根材（ポリカパネル）ご使用上の注意

●屋根材の近くで、殺虫剤、除草剤は使用しないでください。有機系・石油系の物質が付着すると、変色、ムラ、変形、割れが生じることがあります。
●ポリカパネルは材質の特性上、温度の変化による伸縮が発生します。それによって多少のたわみ（反り）の生じる場合がありますが、使用上および機能上問題ありません。

この施工説明書は、「左・右」を躯体側から見た場合を示しています。

別売の天井スクリーン（オプション品）を取付ける場合は、付属の施工説明書 [ME-2055] を合わせて参照してください。

シーリング材は別途手配してください。

もくじ

梱包明細 …… 2
各部の名称 …… 3
納まり図 …… 4
詳細図 …… 5
1．後枠側の施工 …… 6
　1－1施工前の確認 …… 6
　1－2後枠掛け・後枠の連結（※連棟納まりの場合） …… 6
　1－3庇吊り材用レール・後枠掛けの取付け …… 7
　1－4後枠の取付け …… 8
　1－5庇吊り材用レール部品の取付け …… 10
2．垂木・母屋の取付け …… 11
　2－1吊り材の組立て …… 11
　2－2垂木部品の取付け …… 11
　2－3吊り材・垂木の取付け …… 12
　2－4母屋の取付け …… 14
　2－5吊り材の調整 …… 15
3．屋根材の取付け …… 16
4．雨樋の取付け …… 18
　4－1縦樋の取付け …… 18
　4－2雨樋ふさぎカバーの取付け …… 19
施工完了時の注意事項 …… 20
■施工工事店様、販売店様へのお願い …… 20

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称			梱包内容　※表内の（　）は個数を表しています。
垂木・母屋	端部用		垂木（2）・垂木カバー（2）・押さえ材（4）・母屋（1）・前枠用母屋（1）・端部用母屋（L・R各2）・母屋カバー（3） 前枠用母屋カバー（4）・端部用母屋カバー（8）・吊り材（2）・屋根組立部品セット（1）［吊り材端部キャップ（2） φ4×12トラスタッピン3種（4）・母屋固定部品（4）・φ4×12トラスタッピン3種（4）・バッカー材（4） 垂木キャップ（2）・φ4×12トラスタッピン3種（6）・φ4×12皿タッピン3種（2）・φ4×20トラスタッピン3種（4） φ4×20トラスタッピン3種（16）・φ4×10トラスタッピン2種（28）・屋根材押さえ部品（3） φ4×16セルフドリリングビス（6）・母屋端部キャップ（4）・φ4×12トラスタッピン3種（4）・端部母屋補強板（4）］
	中間用		垂木（1）・垂木カバー（1）・押さえ材（2）・母屋（1）・前枠用母屋（1）・母屋カバー（3）・前枠用母屋カバー（4） 吊り材（1）・屋根組立部品セット（1）［吊り材端部キャップ（1）・φ4×12トラスタッピン3種（2）・母屋固定部品（2） φ4×12トラスタッピン3種（2）・バッカー材（1）・垂木キャップ（1）・φ4×12トラスタッピン3種（3） φ4×12皿タッピン3種（1）・φ4×20トラスタッピン3種（2）・φ4×20トラスタッピン3種（8） φ4×10トラスタッピン2種（14）・屋根材押さえ部品（3）・φ4×16セルフドリリングビス（6）］
吊り材取付金具			吊り材調整金具（1）・吊り材移動ブラケット（1）・吊り材固定ブラケット（1）・M8×20セムスボルト（4） M5×10トラス小ネジ（6）・M8×60六角ボルト（1）・M8×16六角ボルト（2）・M8用バネ座金（4） M8用平座金（4）・M8用袋ナット（3）
後枠	単体用		後枠（1）・後枠掛け（1）・後枠ピース（1/2/3）※1・庇吊り材用レール（1）・落ち葉避けネット（1/2/3）※1 後枠キャップセット（1）［後枠キャップ（L・R各1）・φ4×12トラスタッピン3種（4）］ 垂木後枠取付部品セット（1）［垂木取付部品（2/3/4）※1・φ5×16トラスタッピン3種（4/6/8）※1 φ4×12トラスタッピン3種（10/12/16）］※1・吊り材用レールキャップセット（1）［吊り材用レールキャップ（2） φ4×12トラスタッピン3種（4）］・コーチスクリューセット（1）［M8×75コーチスクリュー（13/18/23）※1 M8用バネ座金（13/18/23）※1・M8用平座金（13/18/23）※1］・雨樋ふさぎカバーセット（1）［雨樋ふさぎカバー（1） φ4×13皿セルフドリリングビス（2）・ビス穴ふさぎ（2）］・施工説明書 [ME-2053]（1）・取扱説明書 [MET-1064]（1）
	中間用		後枠（1）・後枠掛け（1）・後枠ピース（2/3）※1・庇吊り材用レール（1）・落ち葉避けネット（2/3）※1 垂木後枠取付部品セット（1）［垂木取付部品（2/3）※1・φ5×16トラスタッピン3種（4/6）※1 φ4×12トラスタッピン3種（10/12）※1］・後枠連結部品セット（1）［後枠連結部品A（1）・後枠連結部品B（1） φ4×12皿タッピン3種（8）・後枠連結用パッキン（1）・後枠連結部止水パッキン（1）］ コーチスクリューセット（1）［M8×75コーチスクリュー（11/16）※1・M8用バネ座金（11/16）※1・M8用平座金（11/16）※1］ 雨樋ふさぎカバーセット（1）［雨樋ふさぎカバー（1）・φ4×13皿セルフドリリングビス（2）・ビス穴ふさぎ（2）］
	端部用	L	後枠（1）・後枠掛け（1）・後枠ピース（2/3）※1・庇吊り材用レール（1）・落ち葉避けネット（2/3）※1 後枠キャップセット（1）［後枠キャップL（1）・φ4×12トラスタッピン3種（2）］・垂木後枠取付部品セット（1）［垂木取付部品（2/3）※1 φ5×16トラスタッピン3種（4/6）※1・φ4×12トラスタッピン3種（10/12）※1］ コーチスクリューセット（1）［M8×75コーチスクリュー（13/18）※1・M8用バネ座金（13/18）※1・M8用平座金（13/18）※1］ 雨樋ふさぎカバーセット（1）［雨樋ふさぎカバー（1）・φ4×13皿セルフドリリングビス（2）・ビス穴ふさぎ（2）］
		R	後枠（1）・後枠掛け（1）・後枠ピース（2/3）※1・庇吊り材用レール（1）・落ち葉避けネット（2/3）※1 吊り材用レールキャップセット（1）［吊り材用レールキャップ（2）・φ4×12トラスタッピン3種（4）］ 後枠キャップセット（1）［後枠キャップR（1）・φ4×12トラスタッピン3種（2）］・垂木後枠取付部品セット（1）［垂木取付部品（3/4）※1 φ5×16トラスタッピン3種（6/8）※1・φ4×12トラスタッピン3種（12/16）※1］ コーチスクリューセット（1）［M8×75コーチスクリュー（16/21）※1・M8用バネ座金（16/21）※1・M8用平座金（16/21）※1］ 雨樋ふさぎカバーセット（1）［雨樋ふさぎカバー（1）・φ4×13皿セルフドリリングビス（2）・ビス穴ふさぎ（2）］ 後枠連結部品セット（1）［後枠連結部品A（1）・後枠連結部品B（1）・φ4×12皿タッピン3種（8）・後枠連結用パッキン（1） 後枠連結部止水パッキン（1）］・施工説明書 [ME-2053]（1）・取扱説明書 [MET-1064]（1）
屋根材			屋根材（1）
φ60用丸縦樋	取付部品		落し口パッキン（2）・落し口（1）・エルボ88°（2）・回転サドル（3）・ビス穴ふさぎ（1）・接着剤（1）・ドレンエルボ（1） φ4×12トラスタッピン3種（4）・φ4.1×50丸木ネジ（3）
	丸縦樋		縦樋 [L=3500]（1）

※1：出巾または間口によって個数が異なります。

各部の名称

●組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作業前に確認してください。
※（　）内は説明ページを示しています。

ME2053-007

3：屋根材の取付け（P.16）
押さえ材
屋根材
押さえ材
1-3：庇吊り材用レール・
後枠掛けの取付け（P.7）
1-4：後枠の取付け（P.8）
後枠掛け
庇吊り材用レール
吊り材
吊り材移動ブラケット
2-1：吊り材の
組立て（P.11）
2-5：吊り材の
調整（P.15）
吊り材用
部材キャップ
後枠
後枠ピース
B
屋根材押さえ部品
後枠キャップ
母屋
前枠用
母屋カバー
エルボ 88°
母屋カバー
垂木カバー
A
2-4：母屋の取付け（P.14）
外側
端部用
母屋カバー
吊り材固定
ブラケット
垂木
垂木キャップ
2-2：垂木部品の取付け（P.11）
2-3：吊り材・垂木の取付け（P.12）

● A から見る

外側
落し口
ビス穴ふさぎ
ドレンエルボ

● B から見る

外側
雨樋ふさぎカバー
4-2：雨樋ふさぎカバーの
取付け（P.19）

丸樋回転サドル
縦樋
4：雨樋の取付け（P.18）
エルボ 88°

●連結部（※連棟納まりの場合）

ME2053-009

後枠掛け
（連結済み）
後枠連結部止水パッキン
後枠連結部品 B
後枠連結用
パッキン
後枠（連結済み）
ME2053-008
後枠連結部品 A
1-2：後枠掛け・後枠の連結
（※連棟納まりの場合）（P.6）

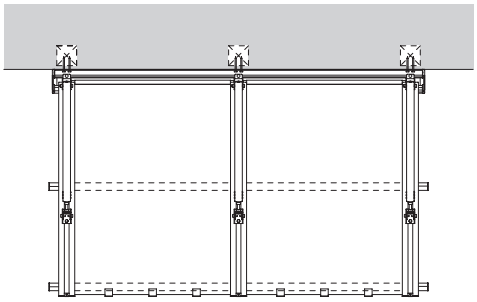
※本図は、出巾 4 尺の場合を示しています。

納まり図

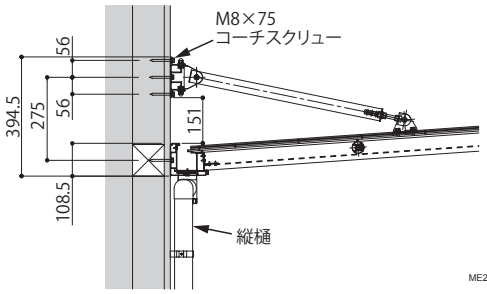
●施工前に必ず確認してください。
●柱・梁部以外には施工できません。

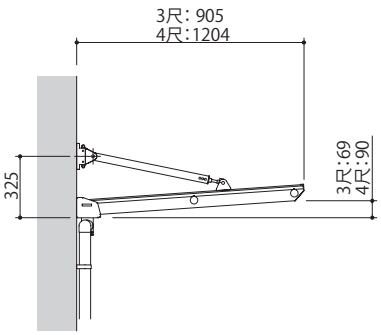
●間口 0.5 間につき、吊り材・垂木各２本です。
●垂木芯々寸法は 910mm です。

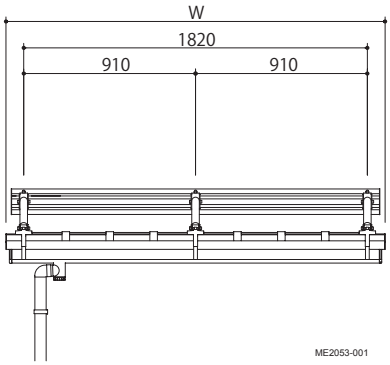
※本図は、出巾４尺・間口１間・単体納まりの場合を示しています。
※（　）内は、出巾３尺の場合を示しています。



横断面図





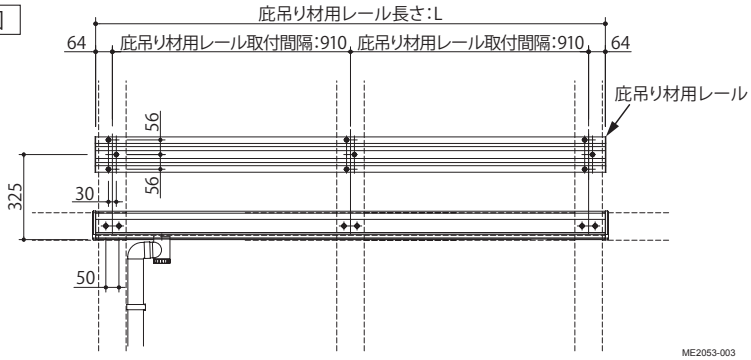


●基本寸法表

（mm）

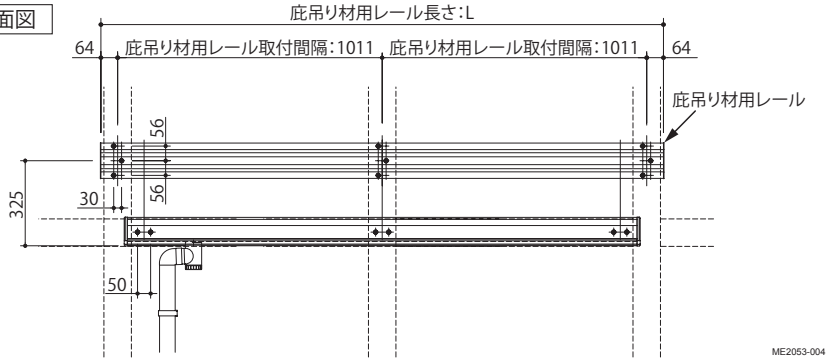
間口	W	L	
		関東間	関西間
0.5 間	1094	1038	1139
1.0 間	2004	1948	2150
1.5 間	2914	2858	3161
2.0 間	3824	3768	4172
2.5 間	4734	4678	5183
3.0 間	5644	5588	6194
3.5 間	6554	6498	7205
4.0 間	7464	7408	8216

関東間・縦断面図



●関東間の場合は、上表を参照して庇吊り材レールを切詰めてください。
●間口 2.0 間以上で庇吊り材レールを連結する場合は、連結後の長さが上表となるように切り詰めてください。
※関西間の場合は、切詰めは不要です。

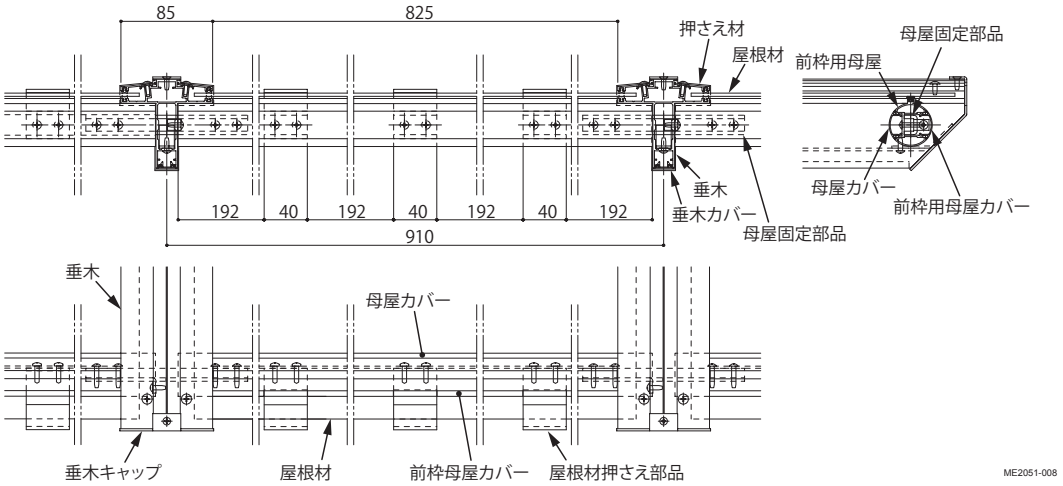
関西間・縦断面図



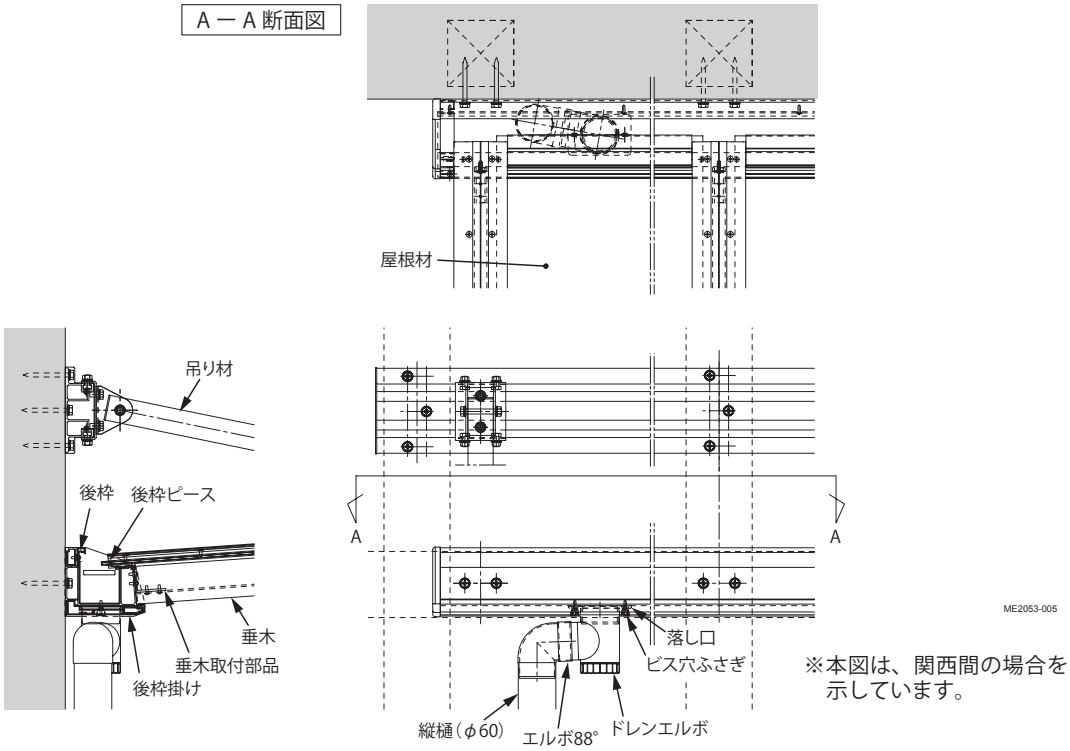
詳細図

●施工前に必ず確認してください。

垂木先端部

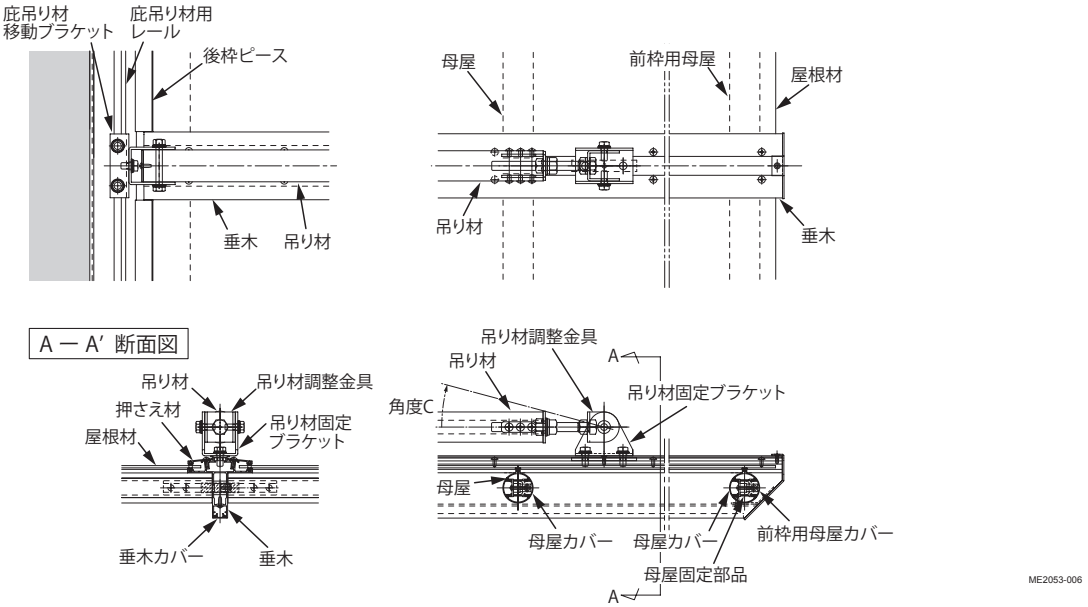


後枠・雨樋部



※本図は、関西間の場合を示しています。

吊り材部



●基本寸法表

出巾	角度 C
3 尺	19.69°
4 尺	15.56°

1 後枠側の施工

●「納まり図」を参照して寸法を確認してください。

1－1 施工前の確認

⚠注意

躯体の柱・梁の位置と強度が十分あることを確認してください。

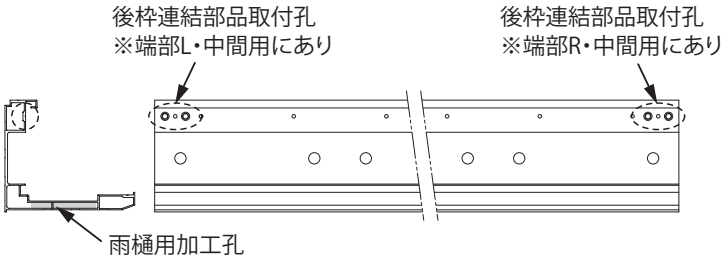
●設置条件を確認してください。
●「納まり図」で取付位置と寸法を確認してください。

●柱・梁部に取付けてください。
※柱・梁部以外には取付けられません。
●２階以上への取付けはしないでください。
●屋根が公道部分にはみださないようにしてください。

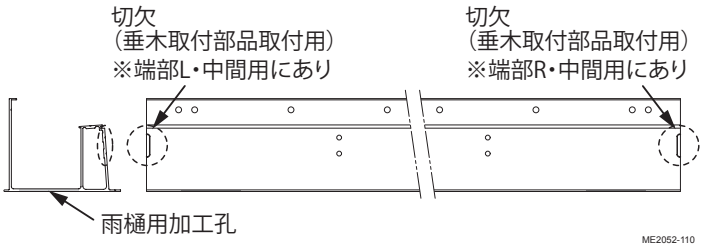
1－2 後枠掛け・後枠の連結（※連棟納まりの場合）

連棟納まりの場合、後枠掛けと後枠には、中間用・端部用 L・端部用 R があります。位置と種類を確認して連結してください。

●後枠掛け（中間用・端部L用/R用）

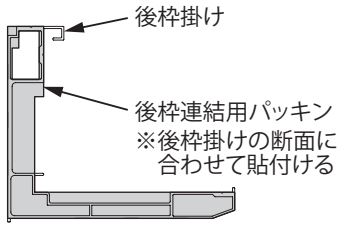


●後枠（中間用・端部L用/R用）



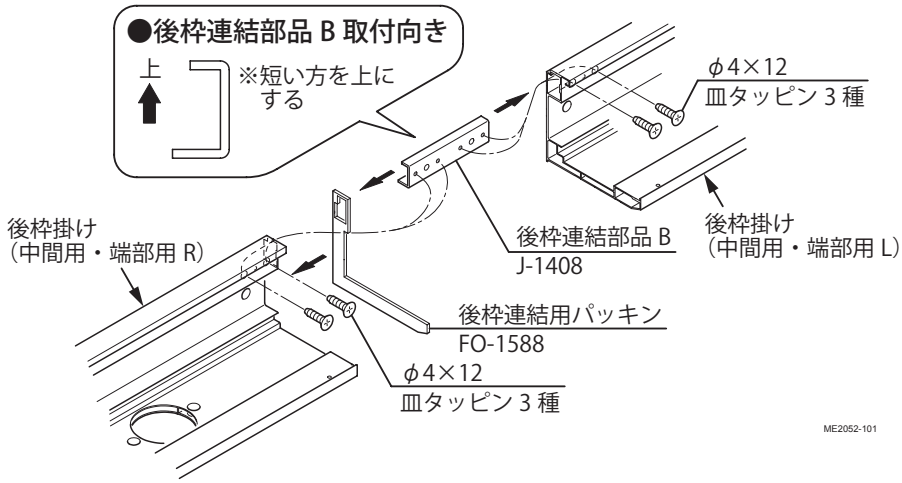
①後枠連結用パッキンを後枠掛けに貼付けてください。

●後枠連結用パッキンの貼付け



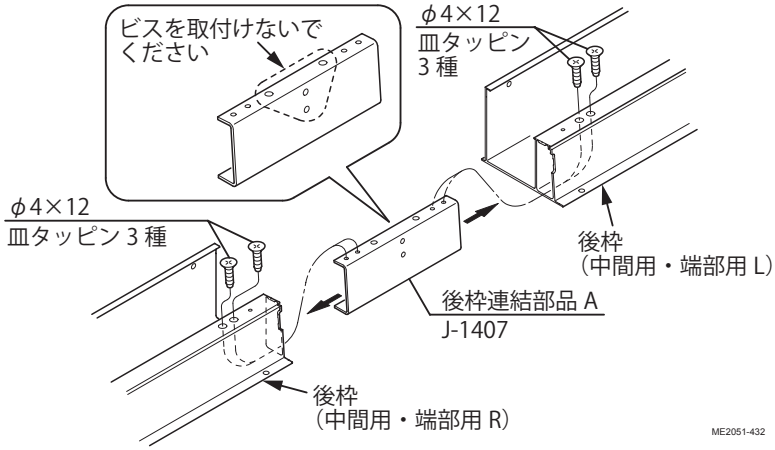
②後枠連結部品 B を後枠掛けに取付けて連結させてください。

連結部品を後枠掛けに差し込んでください。



③後枠を連結させてください。

●連結部品を後枠下部に差し込んでください。
●上面内側２ヶ所および後枠の切欠部にあたる取付孔には、ビスを取付けないでください。
※後工程で垂木・垂木取付部品を取付けます。



1－3 庇吊り材用レール・後枠掛けの取付け

柱・梁に取付け、壁面のみに固定しないでください。

①「納まり図」を参照して、取付位置を決めてください。

②壁面にφ 6.5mm・深さ 55mm の下孔をあけてください。

●下孔は指定以下の寸法にしてください。
●下孔には別途手配にてコーキング処理をしてください。

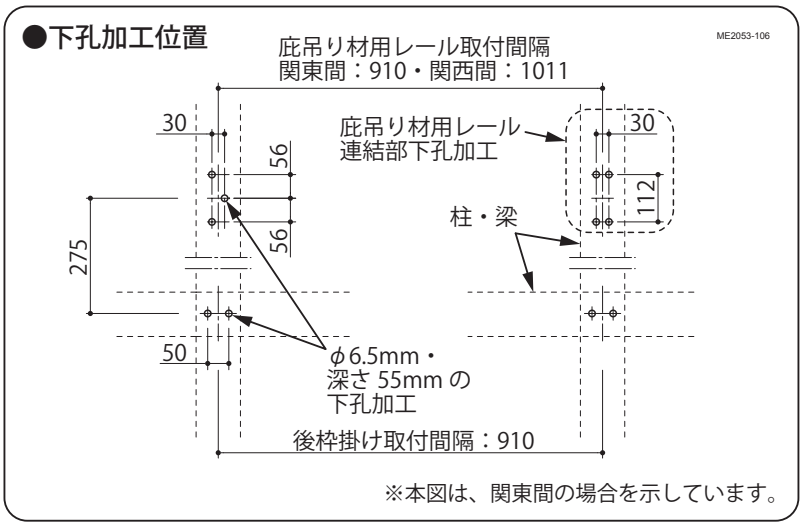
③庇吊り材用レールにφ 11mm の下孔をあけてください。

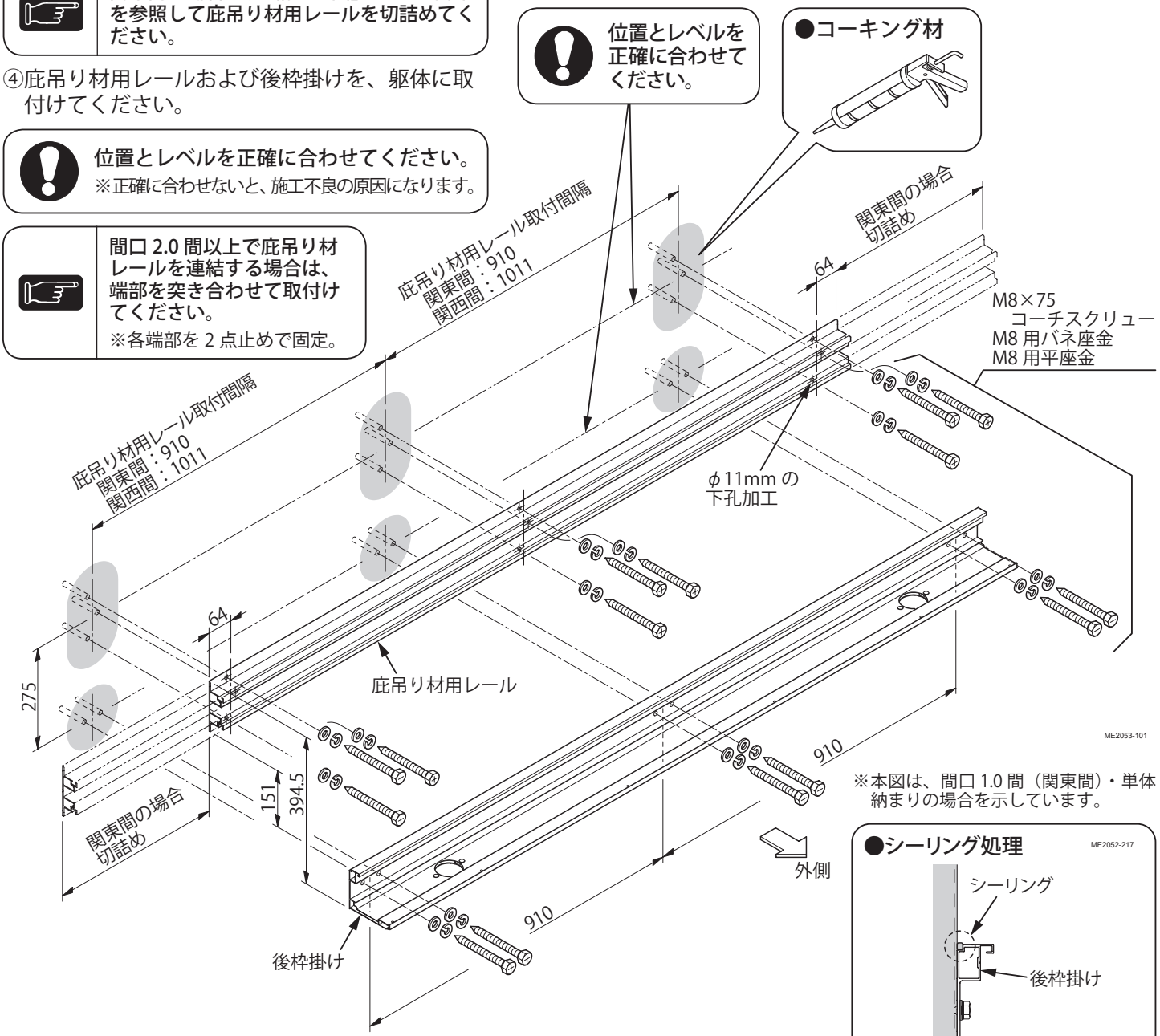
関東間の場合は、「納まり図」および下図を参照して庇吊り材用レールを切詰めてください。

④庇吊り材用レールおよび後枠掛けを、躯体に取付けてください。

位置とレベルを正確に合わせてください。
※正確に合わせないと、施工不良の原因になります。

間口 2.0 間以上で庇吊り材レールを連結する場合は、端部を突き合わせて取付けてください。
※各端部を 2 点止めで固定。





⑤後枠掛けと躯体の隙間にシーリング処理を行ってください。

1－4 後枠の取付け

①雨樋の取付位置を決めてください。

●間口によって取付ける数が異なります。
●雨樋は、後枠の任意の加工孔に取付けることができます。現場の状況に合わせて取付けてください。

●雨樋取付個数

間口	個数
1.0・1.5 間	1
2.0 ～ 3.0 間	2
3.5・4.0 間	3

※各後枠・後枠掛けに 1 つずつ取付けてください。

②落し口パッキンを、落し口または孔ふさぎに貼付けてください。

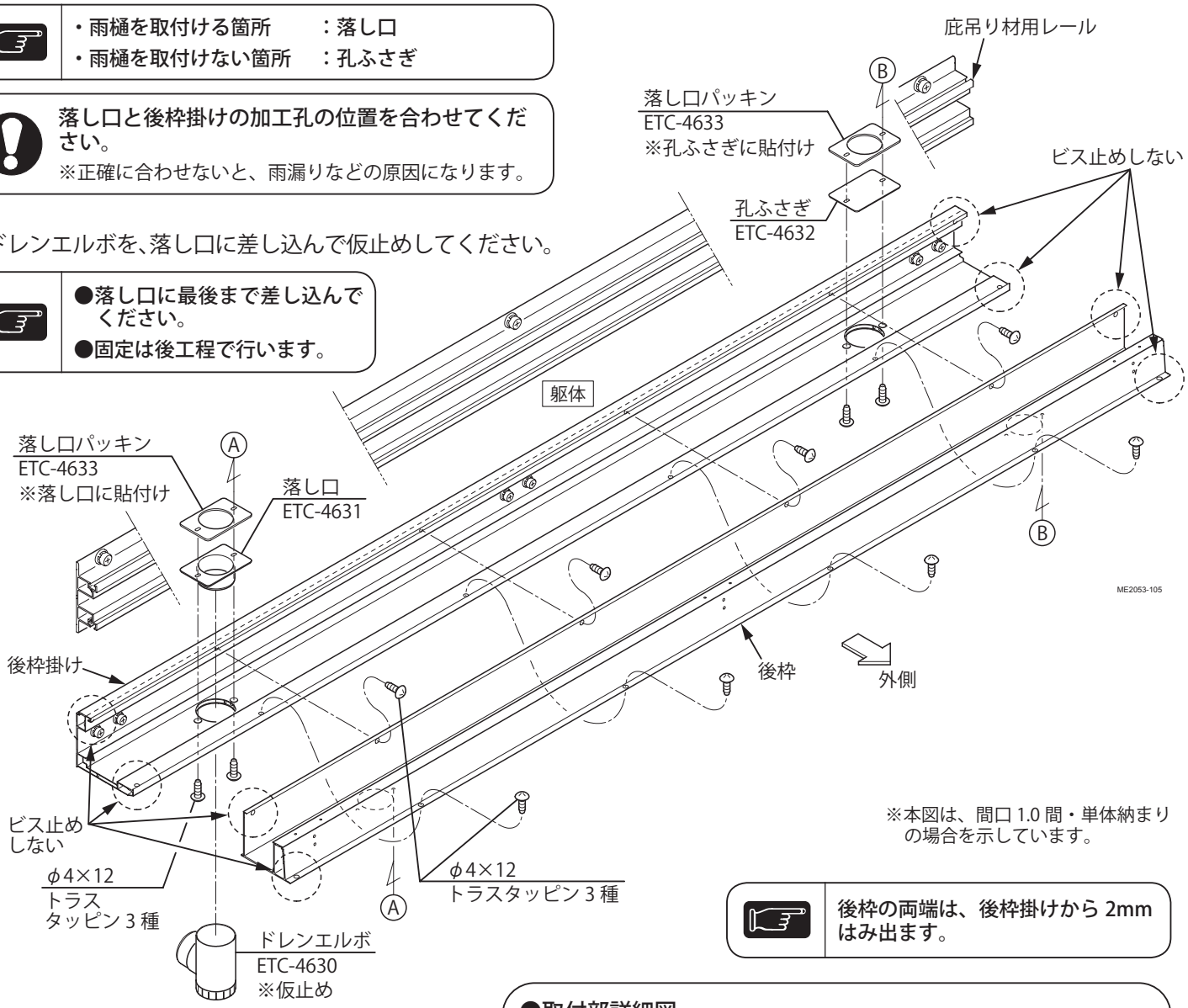
③落し口または孔ふさぎを、後枠掛けの加工孔部に載せてください。

・雨樋を取付ける箇所　：落し口
・雨樋を取付けない箇所　：孔ふさぎ

落し口と後枠掛けの加工孔の位置を合わせてください。
※正確に合わせないと、雨漏りなどの原因になります。

④ドレンエルボを、落し口に差し込んで仮止めしてください。

●落し口に最後まで差し込んでください。
●固定は後工程で行います。



※本図は、間口 1.0 間・単体納まりの場合を示しています。

後枠の両端は、後枠掛けから 2mm はみ出ます。

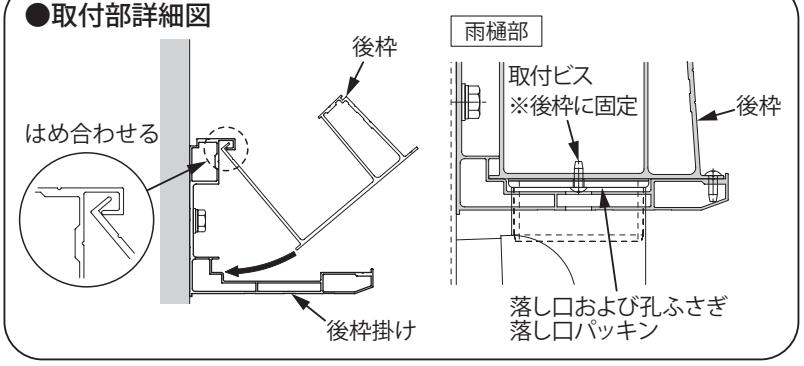
⑤後枠を後枠掛けに取付けてください。

両端の取付孔はビス止めしないでください。
※後工程で、後枠キャップを取付けます。

⑥落し口および孔ふさぎを、ビス止めしてください。

取付ビスは、落し口および孔ふさぎ・落し口パッキンの孔を貫通させ、後枠に固定してください。

●取付部詳細図



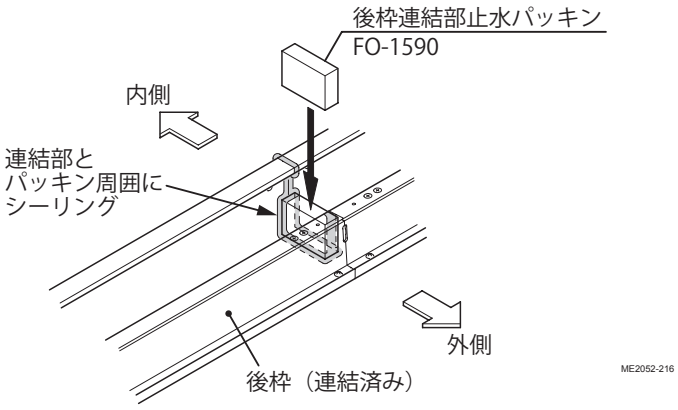
ME2052-212

次の「手順⑦・⑧」は、連棟納まりの場合のみ参照してください。
※単体納まりの場合は不要です。

⑦後枠連結部止水パッキンを、全ての後枠の連結部に載せてください。

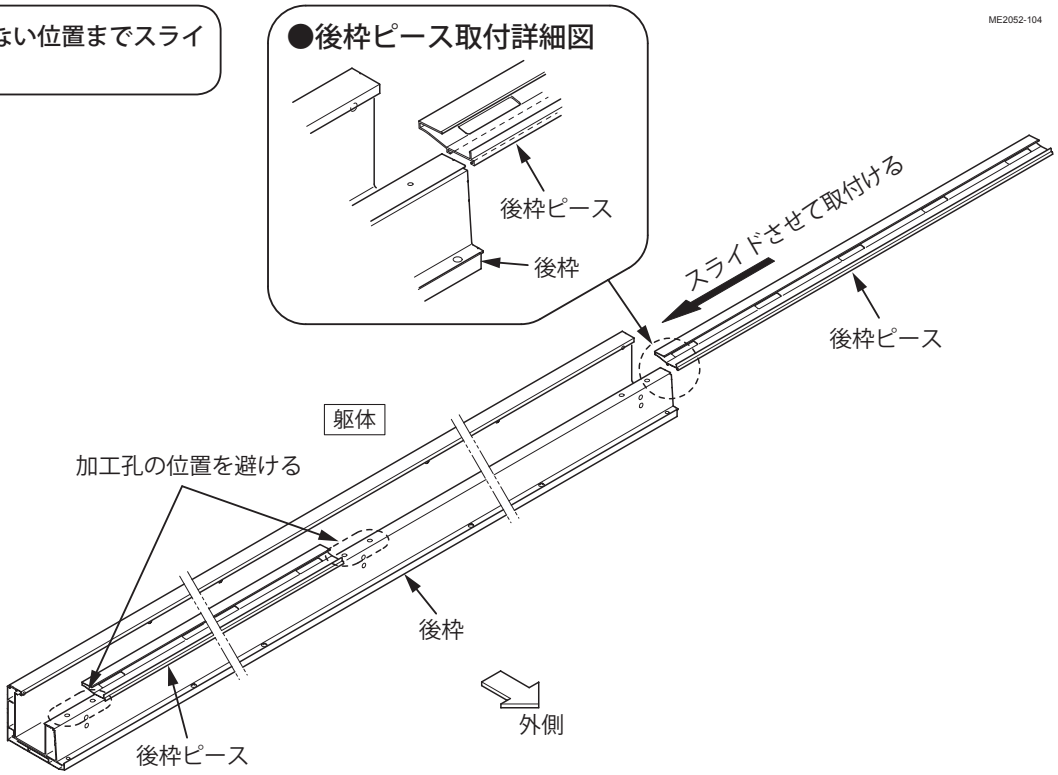
⑧後枠連結部止水パッキンの周りに、シーリング処理を行ってください。

シーリング処理は確実に行ってください。
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。



⑨後枠ピースを後枠の溝にスライドさせて取付けてください。

後枠の加工孔をふさがない位置までスライドさせてください。

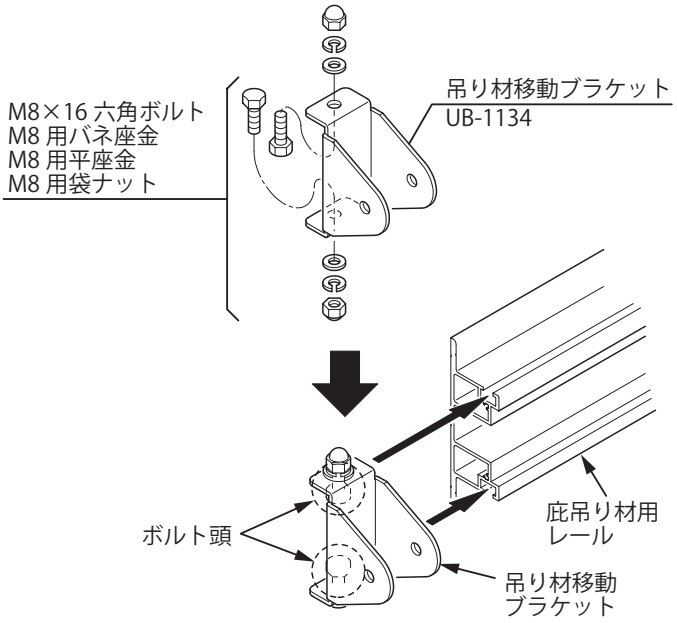


※本図は、間口 1.0 間・単体納まりの場合を示しています。

1－5 庇吊り材用レール部品の取付け

①吊り材移動ブラケットを仮組みし、庇吊り材用レールに取付けてください。

ボルト頭を庇吊り材用レールの上下の溝に挿入してください。



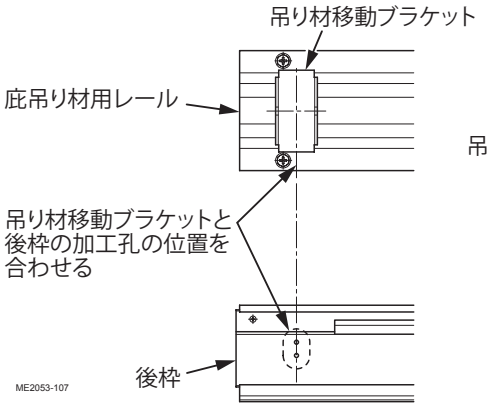
②吊り材移動ブラケットを図の位置で固定してください。

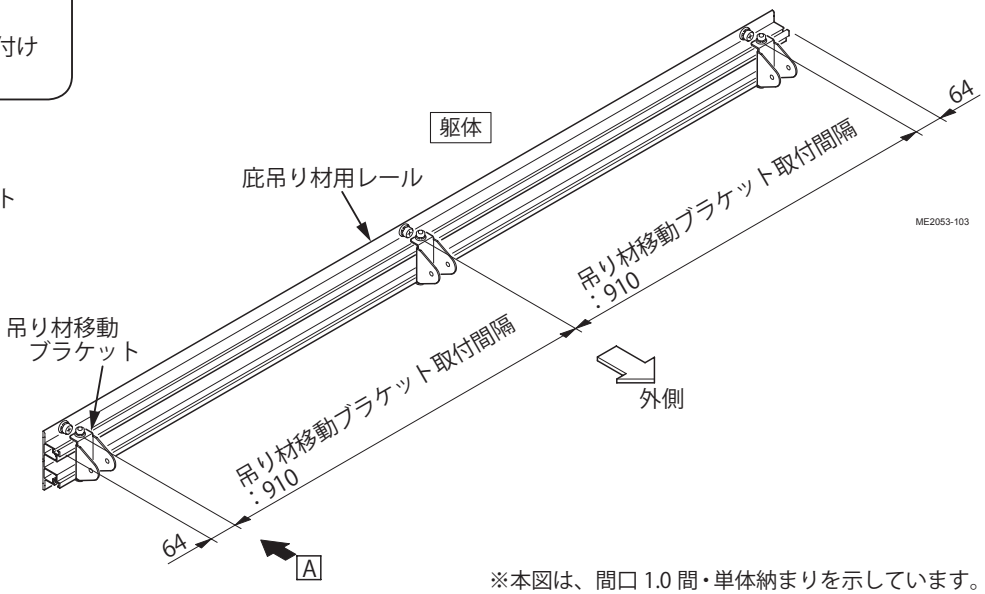
吊り材移動ブラケットと、後枠の加工孔の位置を合わせてください。

※正確に合わせないと、ルーフの取付不良の原因になります。

※加工孔には後工程で垂木を取付けます。

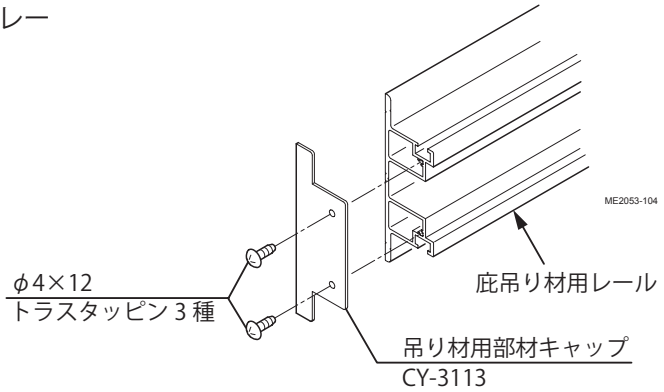
●吊り材移動ブラケット固定位置





※本図は、間口 1.0 間・単体納まりを示しています。

③吊り材用部材キャップを庇吊り材用レールの両端に取付けてください。

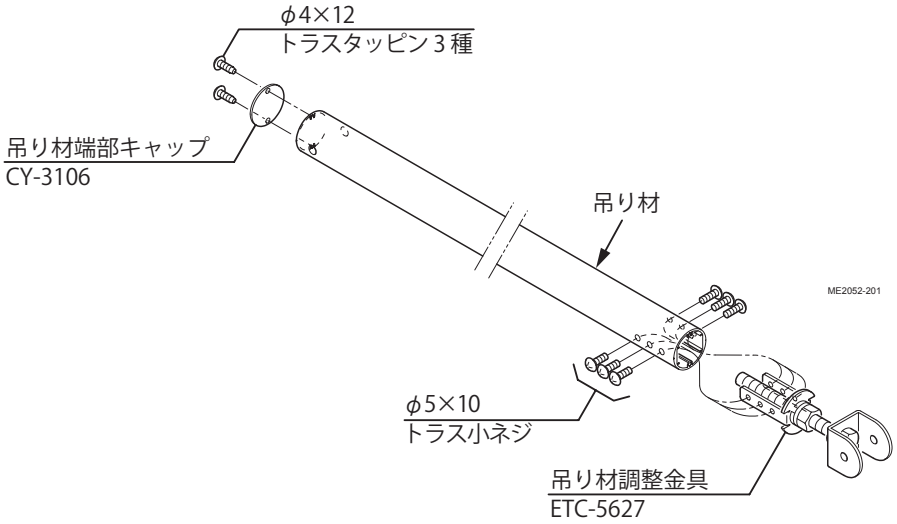


2 垂木・母屋の取付け

2－1 吊り材の組立て

①吊り材端部キャップを吊り材に取付けてください。

②吊り材調整金具を吊り材に取付けてください。

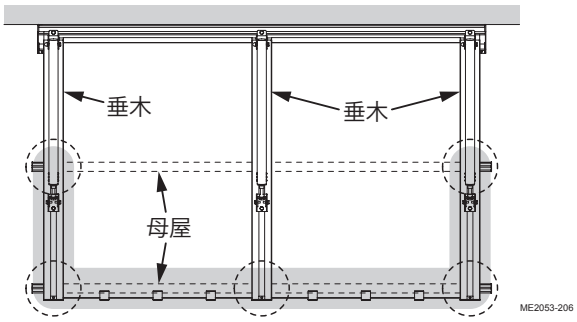


2－2 垂木部品の取付け

①バッカー材を母屋固定部品の中央に差し込んでください。

下図を参照し、屋根外周にあたる母屋固定部品にのみ取付けてください。

●バッカー材取付箇所（イメージ図）



部にあたる母屋固定部品に取付ける

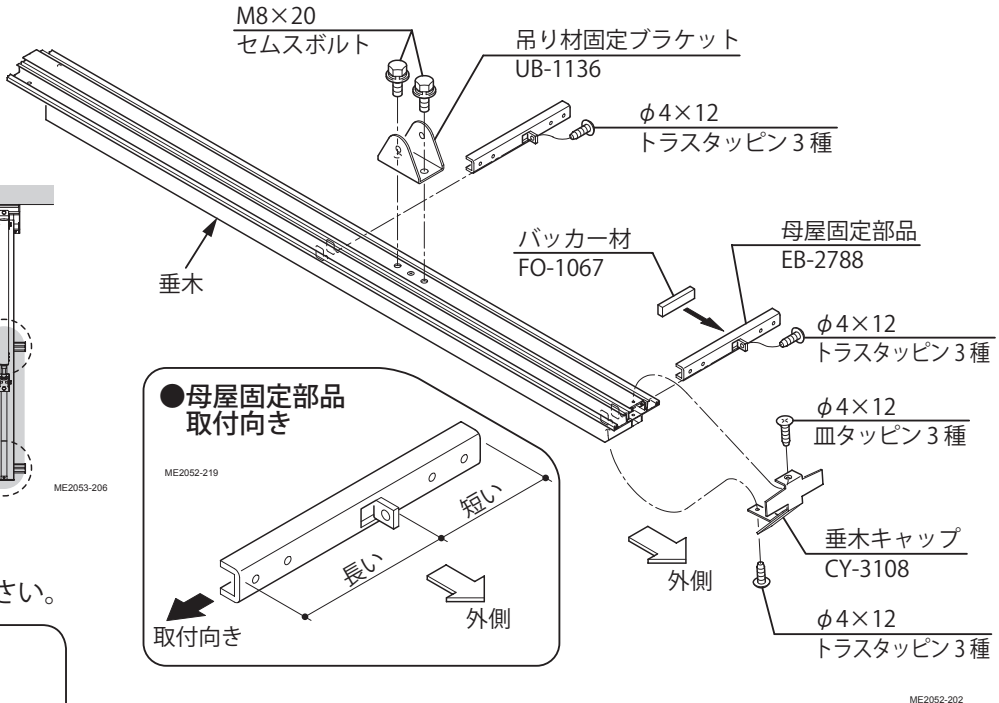
②母屋固定部品を垂木に取付けてください。

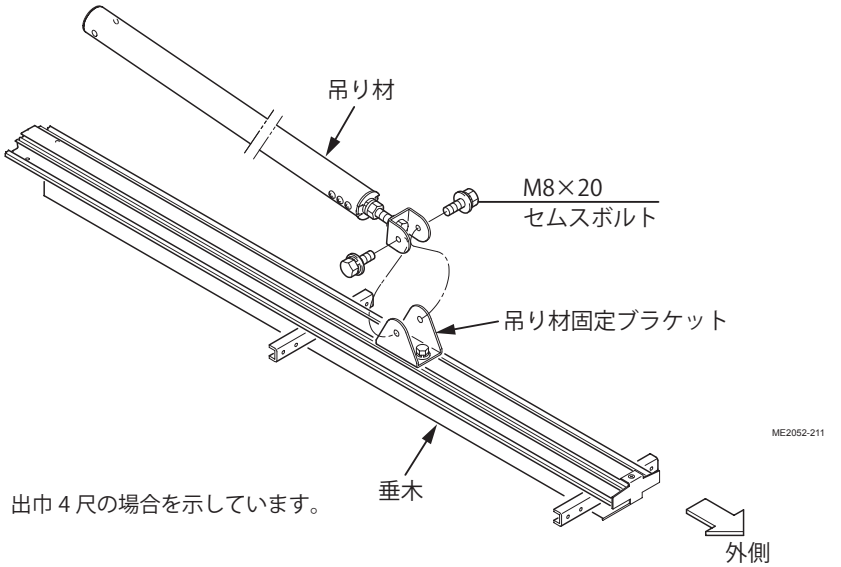
取付向きを確認してください。

③吊り材固定ブラケットを垂木に取付けてください。

④垂木キャップを垂木に取付けてください。

⑤吊り材を垂木に仮止めしてください。





※本図は、出巾４尺の場合を示しています。

2－3 吊り材・垂木の取付け

⚠注意

垂木を後枠に取付けるまでは、垂木を支えておいてください。
※部品の破損、落下の恐れがあります。

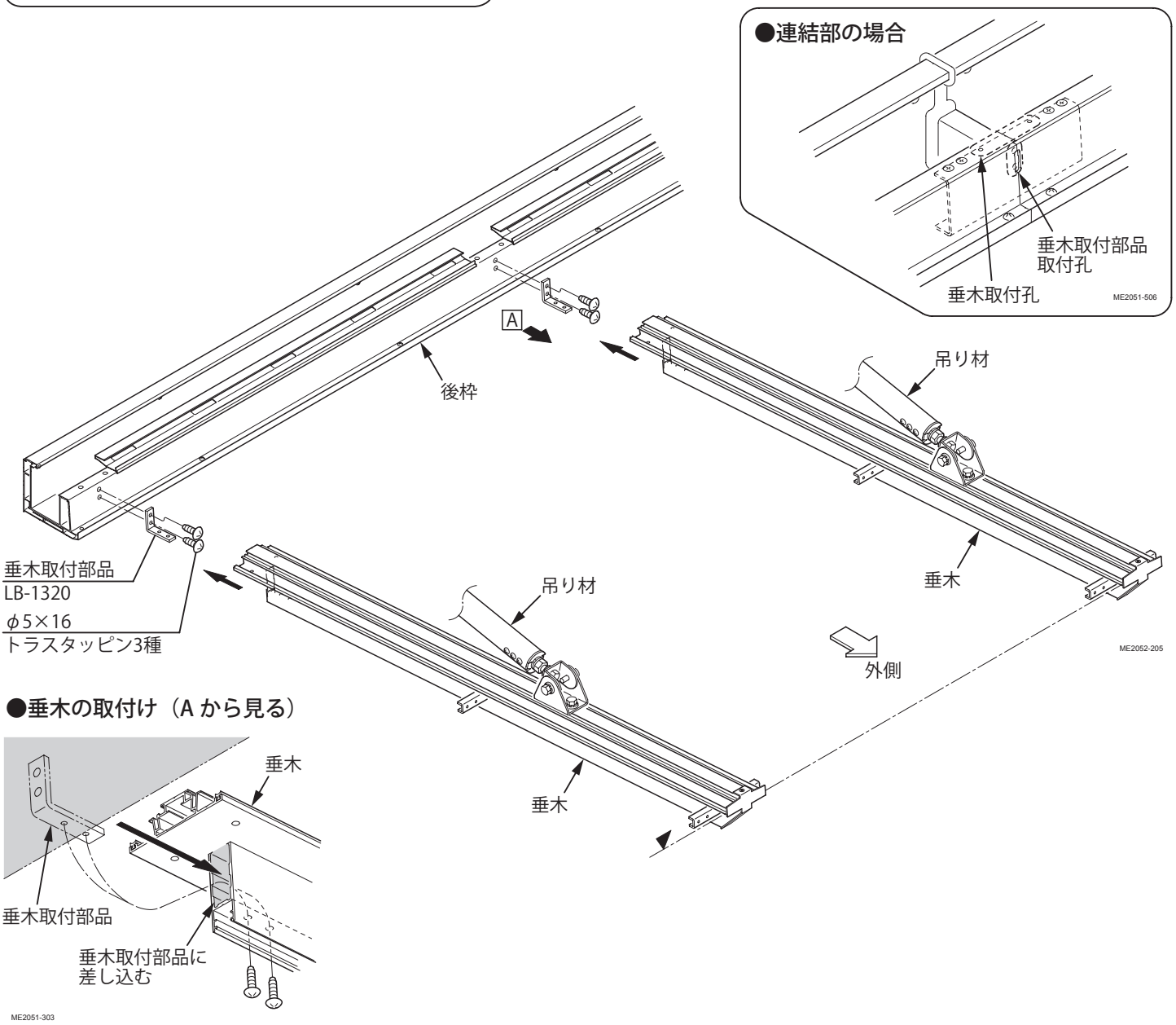
①垂木取付部品を後枠に取付けてください。

後枠連結部では、垂木取付部品は後枠連結部品に取付けます。

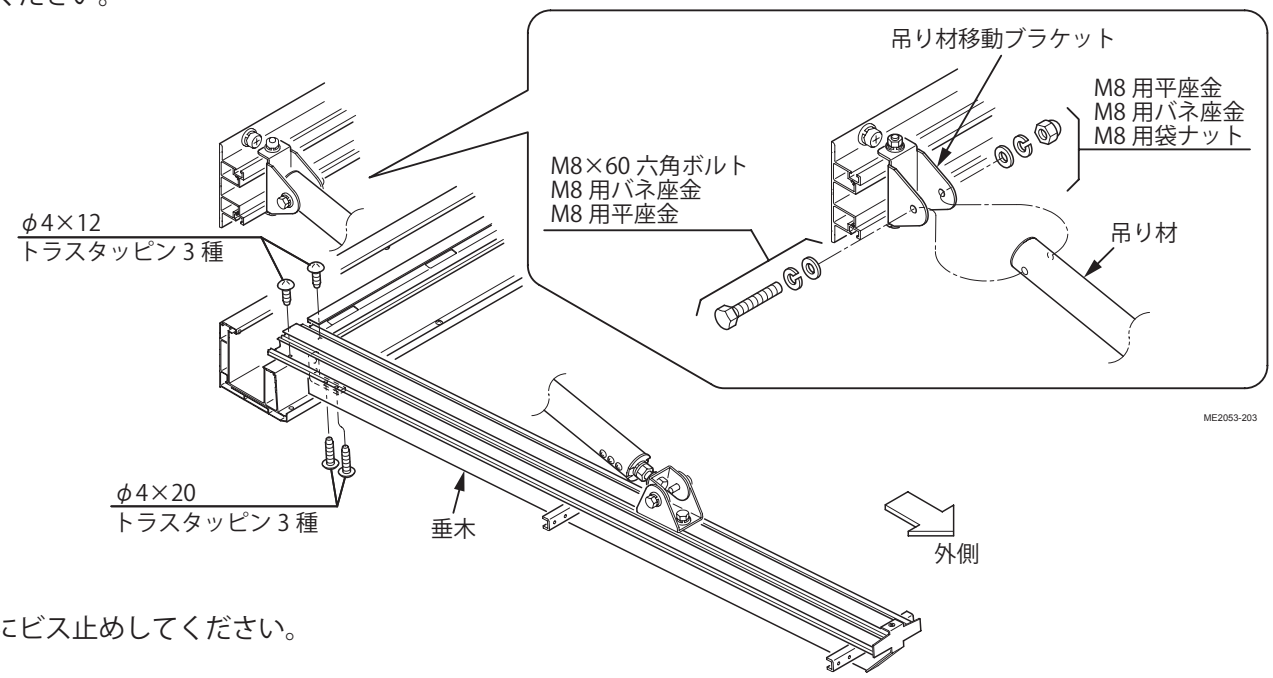
②垂木を垂木取付部品に差し込んでください。

吊り材がぶつかったり落下しないよう、注意してください。

※本図は、出巾４尺の場合を示しています。



③垂木の吊り材を吊り材移動ブラケットに
仮止めしてください。



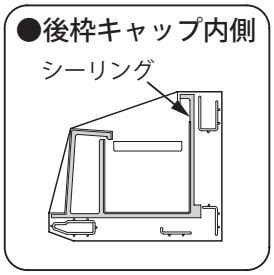
④垂木を後枠にビス止めしてください。

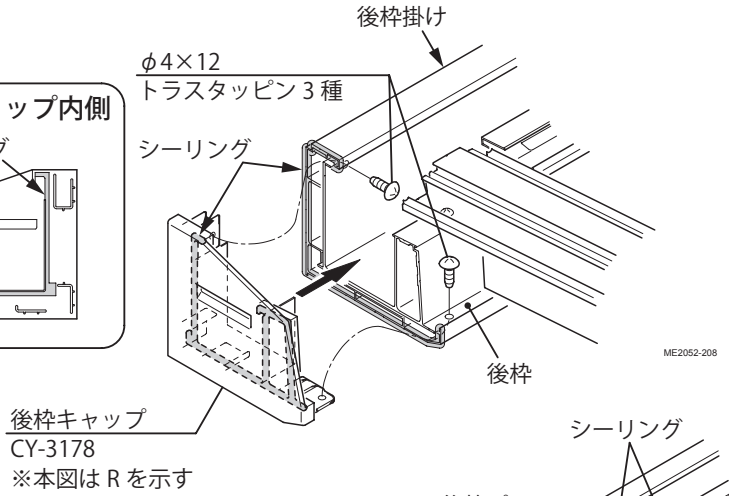
⑤各ビス・ボルトに緩みがないことを確認
してください。

⑥後枠キャップを後枠掛けの両端に取付けて
ください。

●後枠キャップおよび後枠掛けに
シーリング処理を行ってください。
●シーリングが乾く前に取付けを
済ませてください。

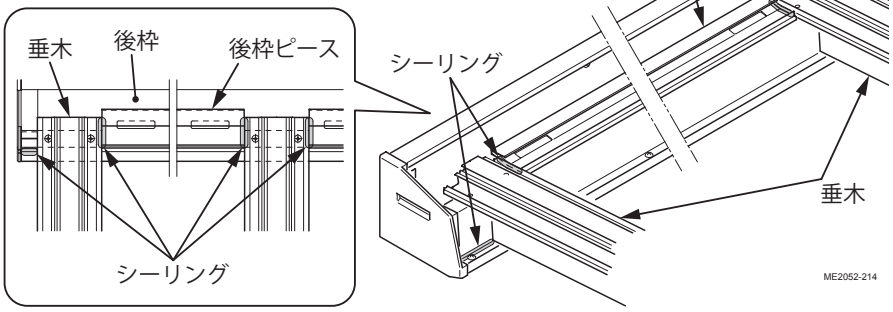
キャップには左右の区別があります。





⑦後枠ピースと垂木の間にシーリング処理を
行ってください。

シーリング処理は確実に行ってください。
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原
因になります。



2－4 母屋の取付け

①「2-2.」の「手順①」でバッカー材を差し込んだ母屋固定部品取付部分にシーリング処理を行ってください。

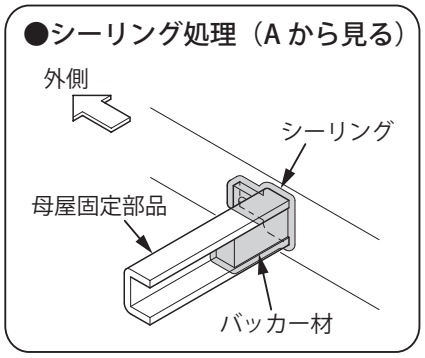
②母屋を垂木に取付けてください。

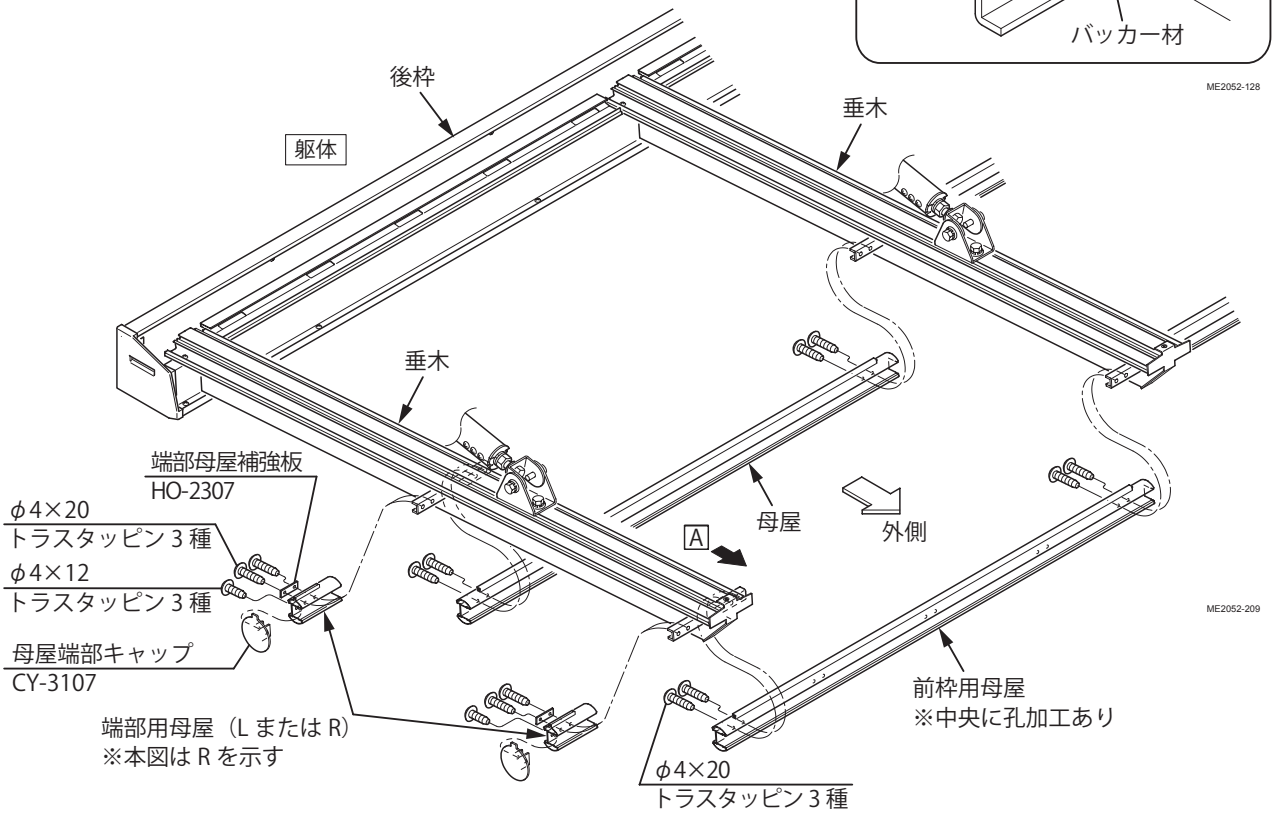
母屋固定部品のシーリングが乾く前に取付けを完了させてください。

後枠側から順に取付けてください。

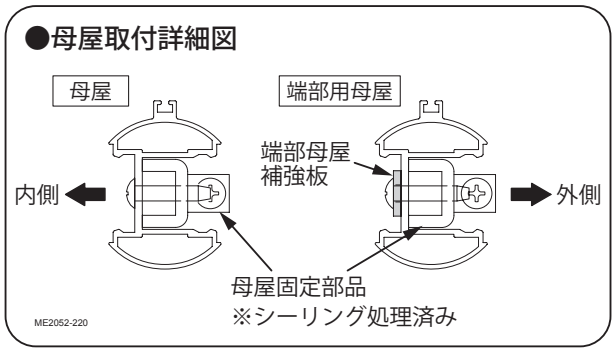
母屋の種類、取付位置、向きを確認してください。

③母屋端部キャップを端部用母屋に取付けてください。

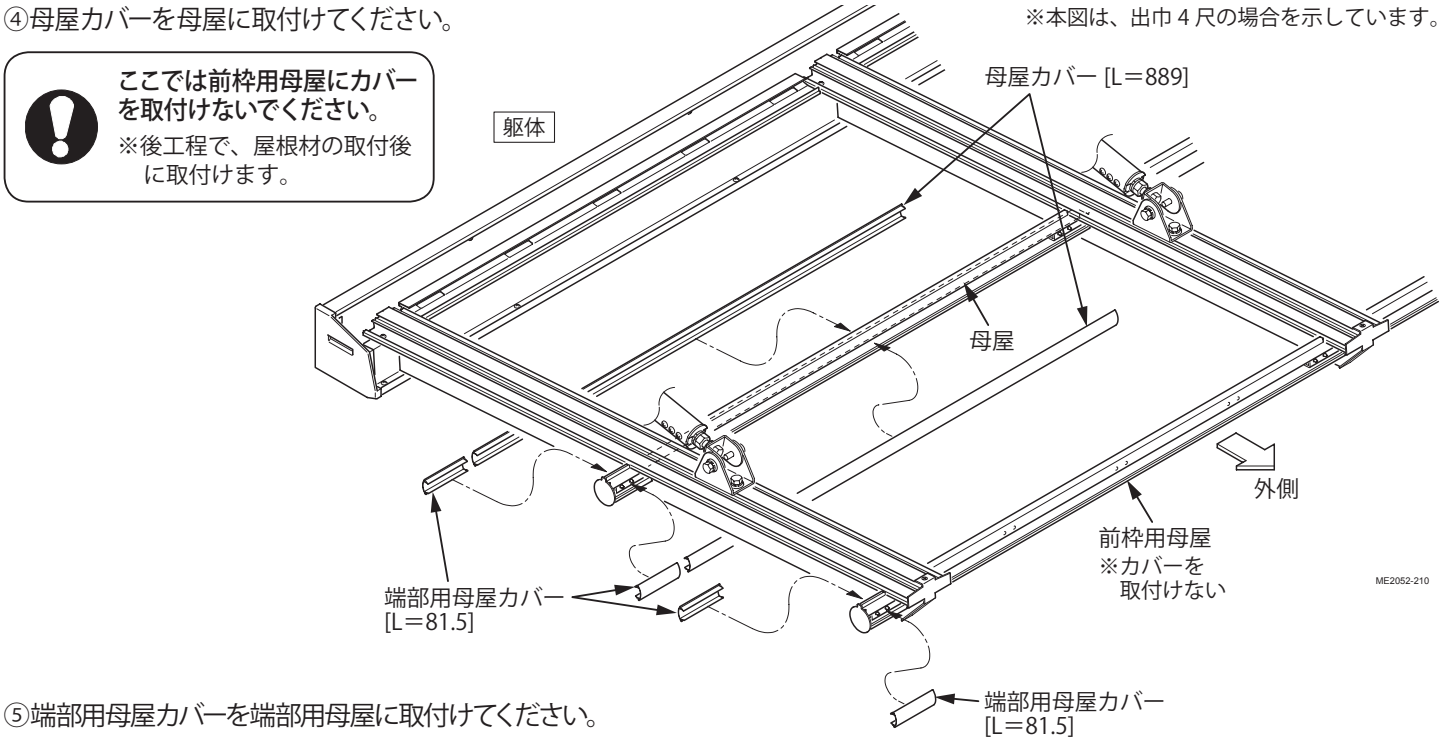




※本図は、出巾 4 尺の場合を示しています。

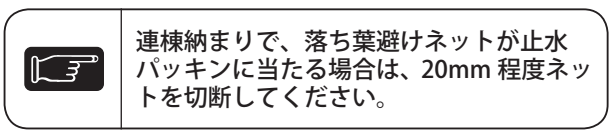


④母屋カバーを母屋に取付けてください。

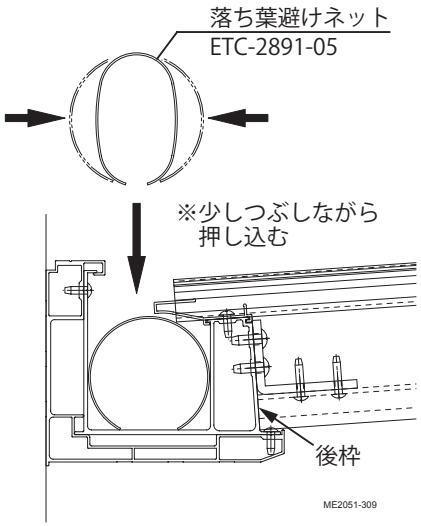


⑤端部用母屋カバーを端部用母屋に取付けてください。

⑥落ち葉避けネットを後枠に取付けてください。

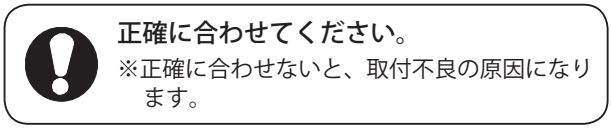


連棟納まりで、落ち葉避けネットが止水パッキンに当たる場合は、20mm 程度ネットを切断してください。

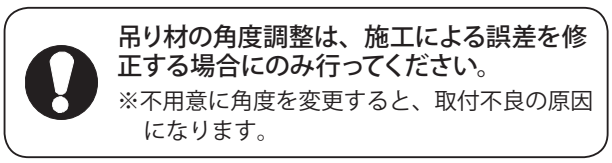


2－5 吊り材の調整

①全ての垂木・母屋を取付けた後、吊り材の長さを調整して垂木の先端のレベルを合わせてください。



正確に合わせてください。
※正確に合わせないと、取付不良の原因になります。

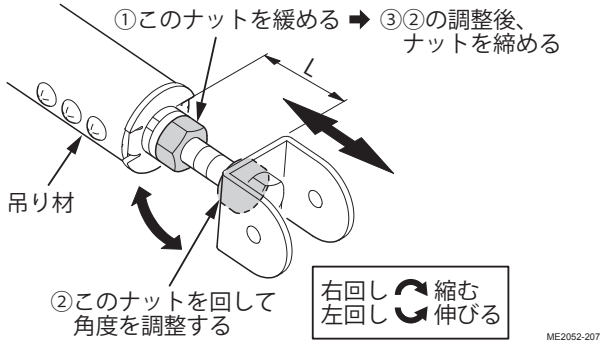


吊り材の角度調整は、施工による誤差を修正する場合にのみ行ってください。
※不用意に角度を変更すると、取付不良の原因になります。

②吊り材の取付ボルトを本締めしてください。

③各ビス・ボルトに緩みがないことを確認してください。

●吊り材の調整方法



基準寸法　L：56mm　垂木角度：4°

3 屋根材の取付け

①屋根材のマスキングシートをはがしてください。

- ●両面ともはがしてください。
- ●屋根材には表裏の区別があります。
- ●マスキングシートの「こちらの面を太陽光に向けてください」という表示がある面が天面になります。はがす前に確認してください。

②屋根材を垂木に載せ、後枠ピースに差し込んでください。

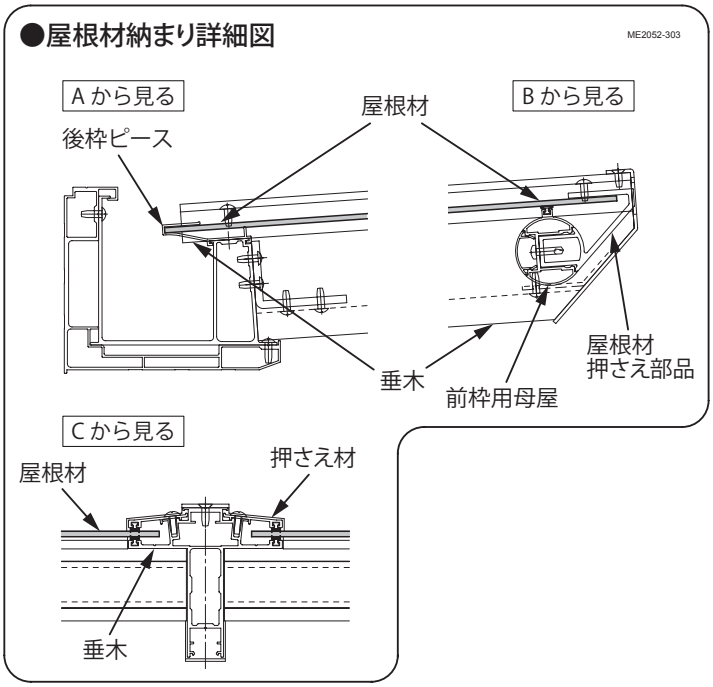
奥まで確実に差し込んでください。

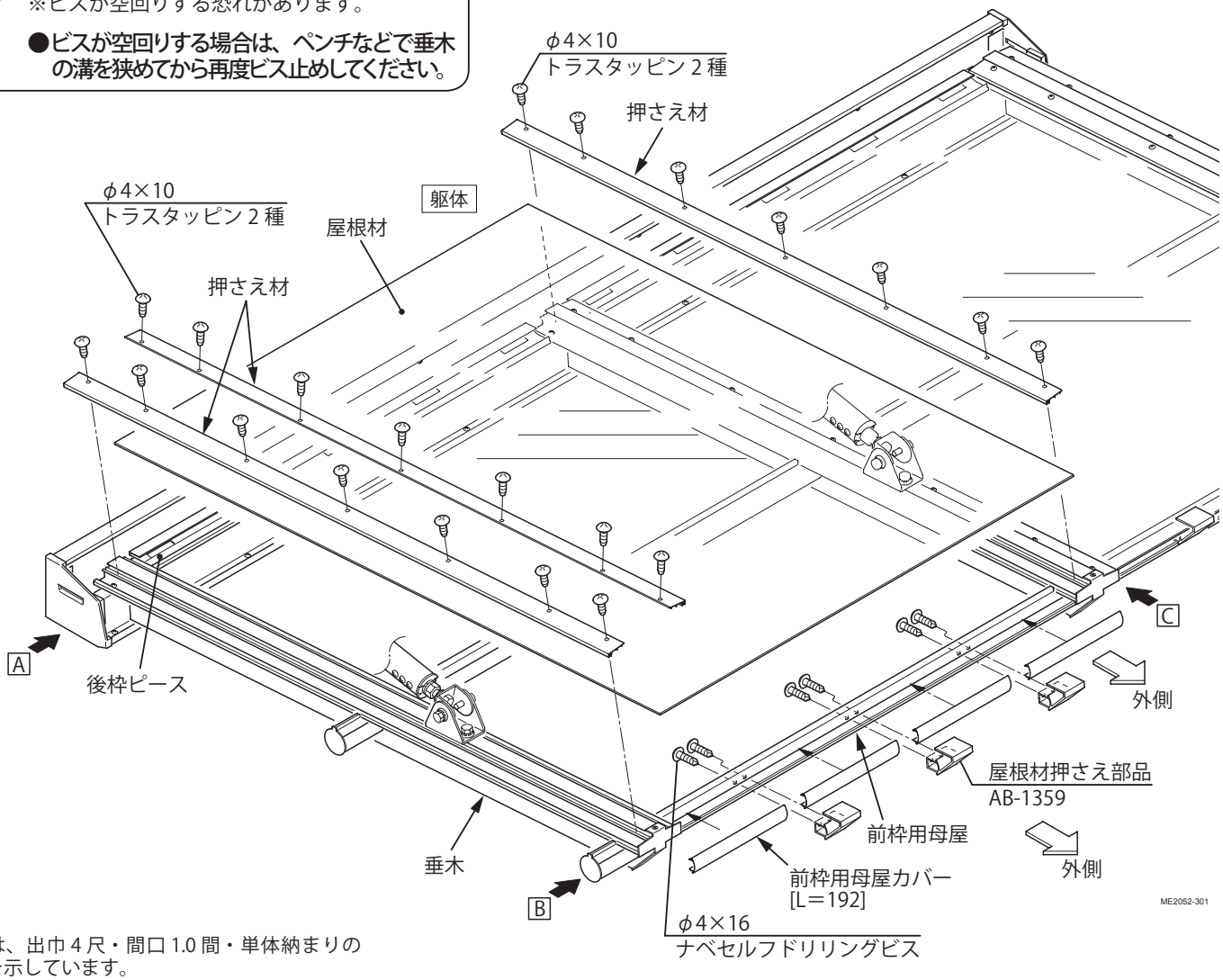
③前枠用母屋カバーを前枠用母屋に取付けてください。

④屋根材押さえ部品を前枠用母屋に取付けてください。

⑤押さえ材を垂木に取付けてください。

- ●屋根材を四隅で均等に振り分け、たわみがないようにしてください。
- ●押さえ材をビス止めするとき、インパクトドライバーを使用しないでください。
  ※ビスが空回りする恐れがあります。
- ●ビスが空回りする場合は、ペンチなどで垂木の溝を狭めてから再度ビス止めしてください。

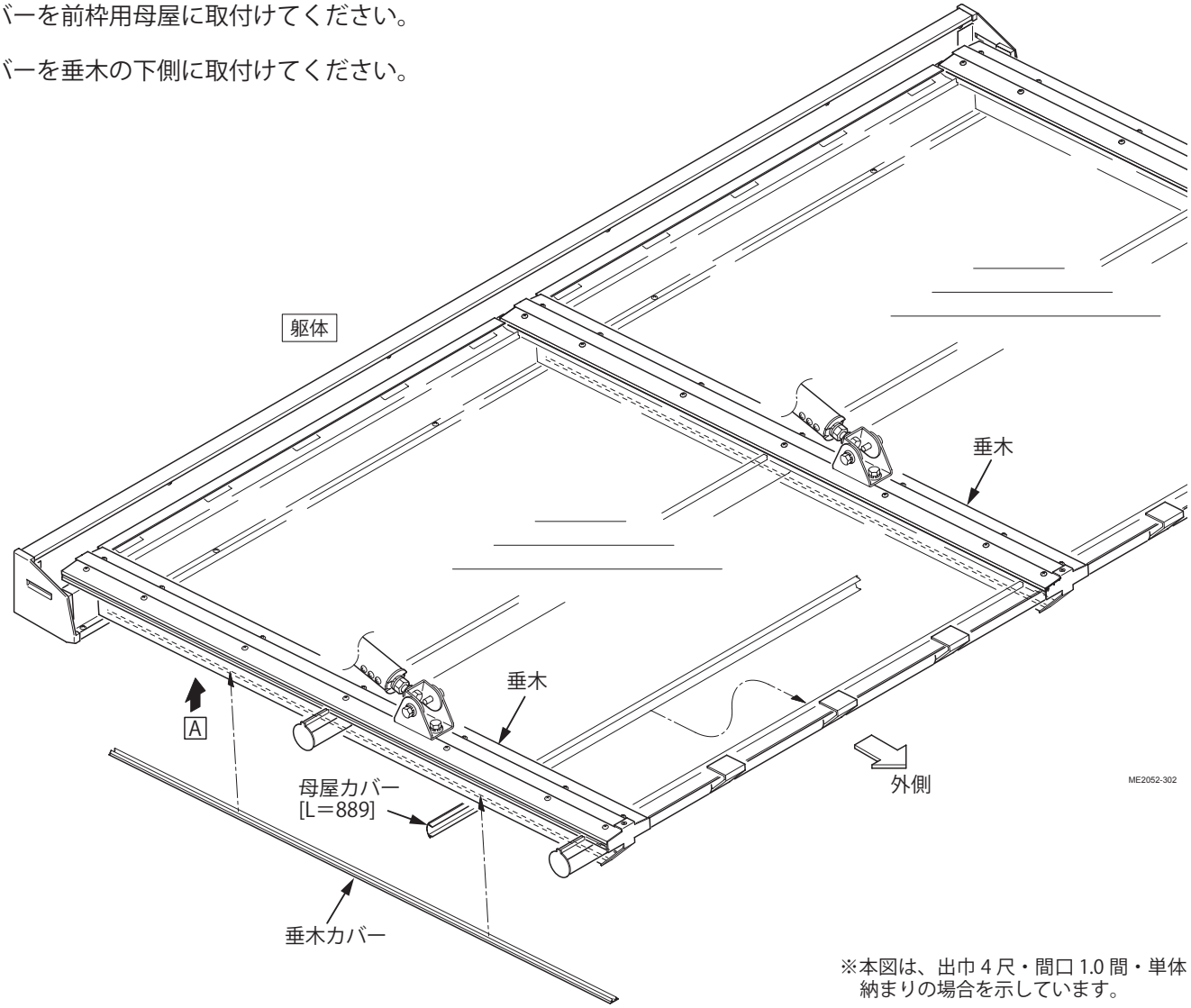




※本図は、出巾4尺・間口1.0間・単体納まりの場合を示しています。

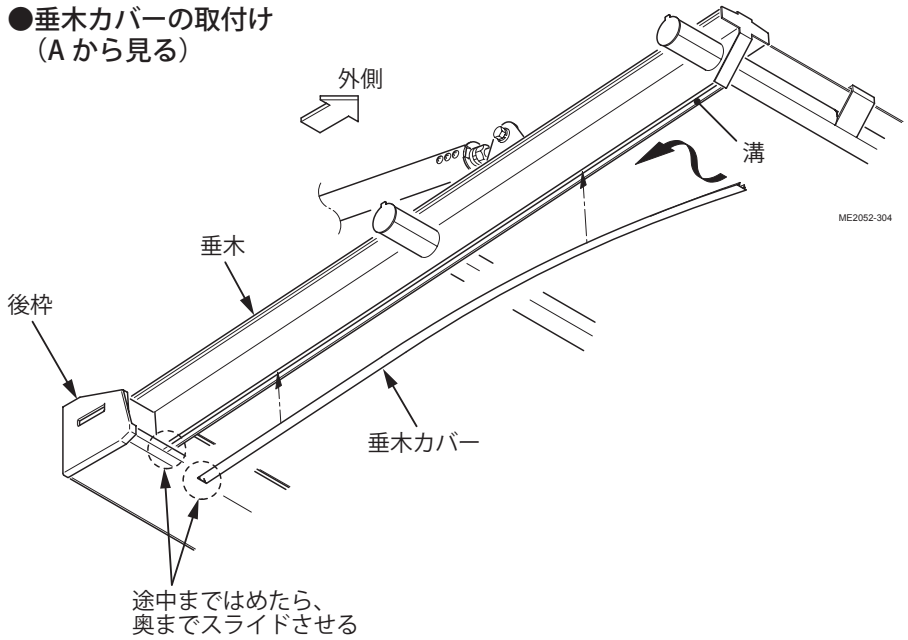
⑥母屋カバーを前枠用母屋に取付けてください。

⑦垂木カバーを垂木の下側に取付けてください。



※本図は、出巾 4 尺・間口 1.0 間・単体
納まりの場合を示しています。

●垂木カバーの取付け
（A から見る）



⑧各ビス・ボルトに緩みがないことを確認してください。

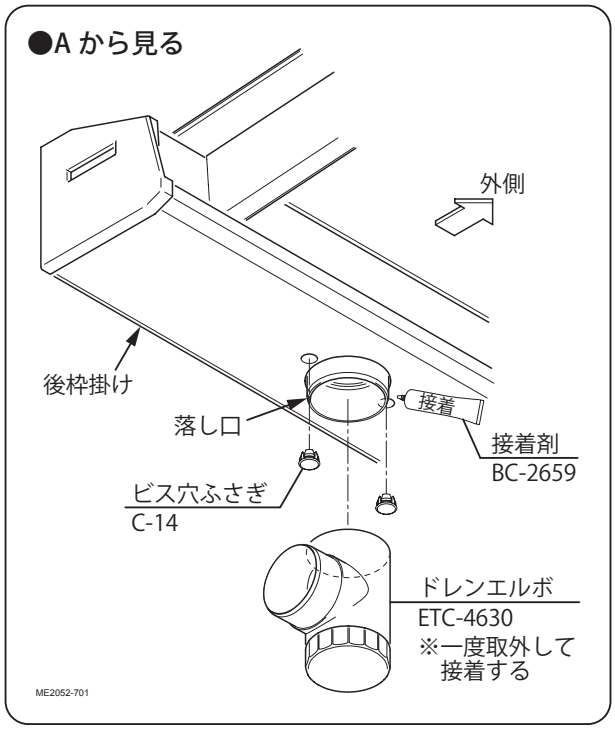
4 雨樋の取付け

4－1 縦樋の取付け

①縦樋を現場合わせで切断してください。

②図を参照して、その他の部品を仮組みし、接着剤で固定してください。

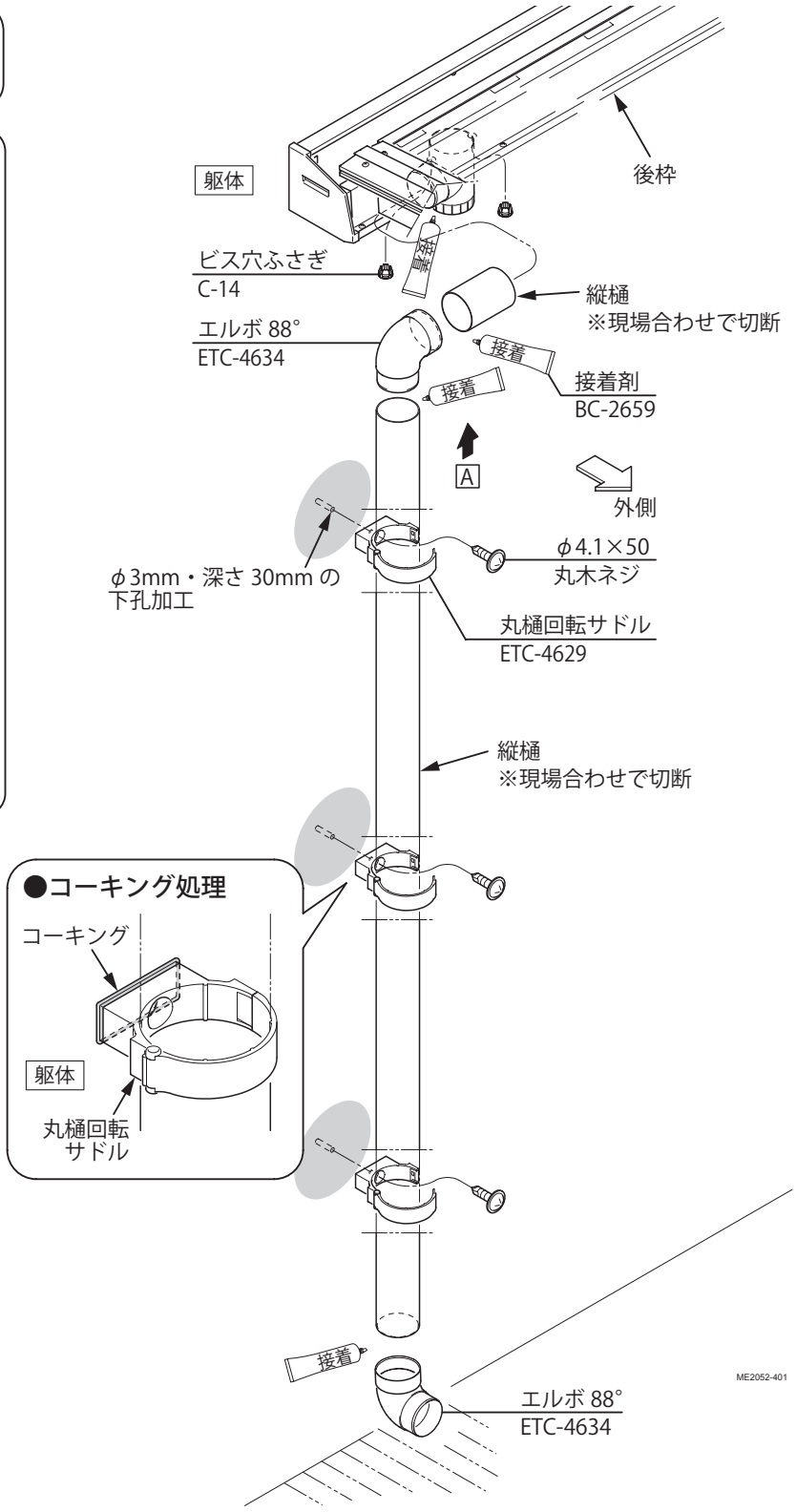
はみ出した接着剤はきれいに取り除いてください。



③躯体の丸樋回転サドル取付位置にφ 3mm・深さ 30mm の下孔をあけてください。

④縦樋を丸樋回転サドルで躯体に固定してください。

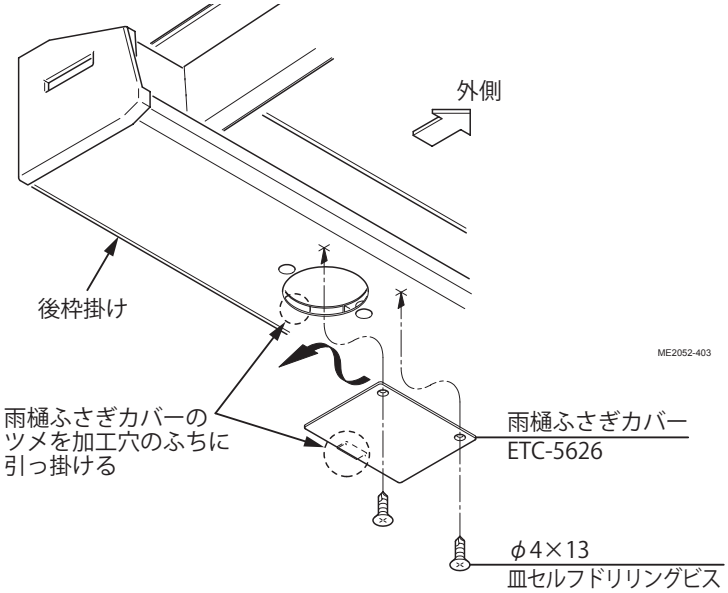
⑤丸樋回転サドルの躯体取付面周囲にコーキング処理を行ってください。



4－2 雨樋ふさぎカバーの取付け

①後枠の残りの加工孔に、雨樋ふさぎカバーを取付けてください。

●前ページ A から見る



施工完了時の注意事項

●ビス・ボルト類が確実に締め付けられているか確認してください。
●雨漏りなどがないか確認し、必要に応じて防水処理を追加してください。
●使用上危険な箇所等がないか点検してください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年　　月　　日
施工工事店	TEL（　　）　　-
販売店	TEL（　　）　　-

株式会社LIXIL　この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合せください。　お客様相談室　0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ　http://www.lixil.co.jp